

平成28年度

ボランティアビューロー通信

第9号



雪だるまの形と言えば、上のような2段重ねですが、西欧では3段重ねが一般的です（右端参照）。日本の雪だるまは禅宗の開祖とされる達磨大師を模し、欧米では人(snowman)を模しているとされています。

鶴町こども食堂プレオープン!!

12月16日に、鶴町でこども食堂がプレオープンしました。参加児童は11名で、立ち上げのメンバーとお手伝いの方が準備をして、カレーライスやデザートを振る舞いました。ご飯の準備の前には、元教諭の方に勉強を教えてもらい、食後もボランティアの方によるマジックショーや、民謡が披露されました。本格的なオープンは来年の1月20日で、場所は鶴町第6住宅集会所を予定しております。

おしらせ



活動報告として、日時・場所・人数・活動内容を3ヶ月に1回程度、電話、FAXまたは来館時にお知らせください。



お問い合わせ

大阪市大正区社会福祉協議会 ボランティアビューロー（担当：繪本・会田）
 〒551-0013 大阪市大正区小林西 1-14-3
 TEL：6555-7575 FAX：6555-0687

ボランティアグループ訪問

◎ おはなしボランティア アナンシ

12月14日に、平尾老人憩の家でクリスマス会が開催されました。子育てサークルに参加しているお母さんと子どもたち、地域の方が集まり、さまざまな催しがおこなわれました。大正保育所の園児たちが「赤鼻のトナカイ」を歌った後、「アナンシ」のメンバーによる絵本の読み聞かせが始まりました。最初の絵本は「きよだいなきよだいな」。「あったとさ、あったとさ」で始まるリズムカルな文章から、



広い野原の真ん中に「きよだいな」ピアノ、扇風機、トイレトペーパーなどが次々と現れて、100人の子どもたちがそこで思いきり遊ぶという、夢のなかの出来事のような不思議な絵本です。生活に身近なものが大きく描かれており、大型絵本で見ると更に迫力があります。代表の福元さんによる抑制された語り口で、子どもたちは集中して絵本の世界に入っていました。次は、五味太郎の「まどからおくりもの」。そそっかしいサンタさんが出てくる仕掛け絵本です。メンバーの皆様の読み聞かせは、部屋の隅々まで声を通して、とても聞きやすい印象がありました。最後は「おおきなかぶ」でしたが、絵本ではなく、組み木を使ってのおはなしで、お馴染みの内容も新鮮に感じました。「アナンシ」は、区内の小学校や保育所での「おはなし会」での活動のほか、大正図書館で毎月第4・5土曜日14時～14時30分に「おたのしみ会」をおこなっていますので、ぜひご参加ください。

◎ 見守りネット ちょこ“カ”

12月21日に、大正区子ども・子育てプラザにて「見守りネット ちょこ“カ”」の活動を観に行きました。クリスマスの飾り付けがされた部屋に入ると、すでにお母さんと子どもたちの賑やかな声でいっぱいでした。代表の伊藤さんが床に足を伸ばして座り、お母さんに子どもを膝の上に乗せるように勧めて、絵本の読み聞かせが始まりました。子どもの反応を見ながら、頁ごとに感想を交えておは



なしすることで、自然と和やかな雰囲気になっていきます。読み聞かせが終わると、お母さんに向けて、来年、地域でおこなう防災訓練の話をして、子どもにとって必要な防災用品について点検するように呼びかけました。伊藤さんは、永年、主任児童委員を務めた後、今は民生委員として活動されています。引き続き、家庭と地域と学校を繋ぐ活動をしていきたいということから、子育て支援サークルを立ち上げたとのこと。後半は、参加者にあみだくじを引いてもらい、クリスマスプレゼントを子どもたちに渡して、終始賑やかな様子でお開きとなりました。

※活動取材してほしい団体があれば、ボランティアビューローまでご連絡お願いいたします。